

日時

1月22日(水)
16:00-18:30

定員

先着500名

第8回

バイオバンク オープンフォーラム

会場

オンライン配信

オンライン会議アプリ『Zoom』を使用

事前に申し込みフォームへアクセスし、参加登録をお願いします。
ご登録後、ウェビナー参加に関する確認メールが届きます。参加費
無料バイオバンクの
利活用

～あらためて手続きを問い直す～

登録締め切り

1月21日(火)まで

〈申し込みフォームはこちらから〉

https://us02web.zoom.us/join/register?wn_att6nYA_Q-aRX868qK7pZQ

申し込みフォーム

バイオバンクの試料・情報を利用するには、いくつかの手続きが必要です。研究計画を立て、その計画のために必要な試料・情報を見積もり、その試料・情報がどのバイオバンクにあるかを調べた上で、倫理審査を受け、利用審査を受け、MTA/DTAを締結し、・・・とプロセスは多岐にわたります。

また、バイオバンクの側でも、利用希望者のお話を伺うためにNDAを締結し、問合せに対応し、費用見積もりをし、審査書類のレビューを行い、MTA/DTAを締結し、必要に応じて情報公開を行い、と、多様な手続きを踏んでいます。

どのプロセスの何が重要で、重複していることは何か、省けるとしたら省けるものは何か、法的な規制がかかっていることは何か、利用者側でも運営者側でも必ずしも整理しきれないのが現状です。

あらためて現状の問題点と課題を整理して、可能な解決や提言があり得るのか、様々な角度から検討します。

全編
同時通訳
あり

プログラム

総合司会 [東北大学東北メディカル・メガバンク機構]
教授 長神 風二

16:00～ はじめに

講演

16:10～ バイオバンク利活用を促進する社会共創の在り方

[東京科学大学生命倫理センター]
センター長 吉田 雅幸

話題提供

16:30～ 倫理支援の経験

[東京科学大学大学院 先進倫理医学分野]
講師 甲畑 宏子

16:45～ バイオバンクからの試料・情報取得にかかる手続きについて

[筑波大学つくばデジタルバイオ国際拠点]
藤村 高穂 (元製薬企業 ヒト試料取得支援担当)

17:00～ 利用者から(企業)

[アステラス製薬]
石川 毅 (日本製薬工業協会研究開発委員会)
[武田薬品工業]
湯川 佳代 (日本製薬工業協会研究開発委員会)

17:10～ 利用者から(検査会社)

[株式会社イムノセンス研究開発部]
執行役員CTO 岡 弘章

17:15～ 利用者から(アカデミア)

[岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域]
教授 二見 淳一郎

17:30～ 次世代医療基盤法が拓くデータ活用の途

[京都大学医学部附属病院 医療情報企画部]
教授 黒田 知宏

17:50～ Navigating the Legal and Ethical Landscape of
Biobanks in Europe: Simplifying Procedures
While Addressing Privacy, Consent,
Risk Governance, and Public Engagement.

[BBMRI-ERIC, ELSI team, Graz, Austria]
Dr. Kaya Akyüz, Dr. Ilaria Colussi, and Ms. Irene Schluender

18:10～ 総総合質疑・討論

18:25～ 閉会挨拶

18:30 閉会



主催・問合せ先



東北大学 東北メディカル・メガバンク機構
AMEDゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム(ゲノム医療実現推進プラットフォーム・ゲノム研究プラットフォーム利活用システム)
「ゲノム医療実現推進のためのバイオバンク・ネットワーク構築とバイオバンク利活用促進に関する研究開発」
[Mail]contact@biobank-network.jp [Web]https://www.biobank-network.jp

協賛



国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)